

ステロイド服用後、網膜色素上皮症と診断。

「ステロイドが悪い証拠」 徳弘徳子 78歳

2017年1月31日

ステロイドの悪い証拠を書きます。リウマチ性筋痛症で6月20日にステロイド服用開始後、同年8月15日に早くも網膜色素上皮症と医大の眼科で診断された折りの事です。

私が「下の整形外科でリウマチの為、ステロイド治療しています」と伝えると、眼科医は「変化があったらすぐ来なさい」と言いました。ステロイドが関係して悪化するとは言わなかったが、この一言で判りました。今迄は半年に1回に来院するようにとしか言われていなかったからです。

8月17日水漏れにより目が見えなくなり、すぐ眼科医へ行きました。眼科医から「水が貯留しているので自然治癒しか無い。もう悪くなることはあっても、絶対良くはならない」と言われました。

その後12月28日2回目の裂孔で右目が中心暗点になりました。定期的には月1回来院するよう指示がありましたが、変化があれば随時受診しなさいと言うことでした。眼科医は一切薬を出しませんでした。

その後、約1年弱でステロイドも増量になり、見切りをつけ、やっと松本医院へ辿り着いたのです。松本医院への通院を開始した後、眼科医に「もう下の整形外科には見切りを付けました。漢方治療に切り替えて大阪へ通院しています」と報告すると眼科医は「それなら通院は半年に1回で良い」と言いました。これでステロイドが悪いことを実証したのです。

昨年の11月の眼底検査で、眼科医に「目の薬を何か服用していますか？」と聞かれたので、「漢方煎剤と漢方湯です」と答えると首を傾げていたので、「近頃は中心暗点の部分がモヤの様に白くなり、おかげ様で相当良くなりました」と返答しました。

今年の3月で5年になりますが、煎じ薬と漢方湯は毎日日課にしていました。漢方は効くのです。ゆっくりですが真面目と言うか本気で取り組む事が大事と実感しました。